
家族

美花

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

家族

【Nコード】

N5313B

【作者名】

美花

【あらすじ】

今日、捨て猫を見つけてしまいました、凹みました…

あの人は帰ってこない

もう何時間たったのだろうか

ココは寒くて、騒がしくて、窮屈で嫌いだ。

いつもボクを拾いあげて、微笑んでくれたあの人はどこに行ったのだろうか

もう晩御飯時なんてとっくに過ぎてる

早くあの人の作った物が食べたい

風がビュンビュン吹いて近くの木を揺らせてる

寒い

冷たい

寂しい

怖い

いつもなら今頃、ボクの大好きなソファでゴロゴロしていたはずなのに

どうしてこんな事になったの？

ボクが何をした？

そんなに嫌われるようなこと、した覚えない

会いたい

会いたいよ

帰ってきてよ

変な女の人達が近づいてきた

ねえ、ボクの大好きなあの人を知らない？

女の人はニコニコしながら何か一言呟いてボクの頭を撫で、去っていった

ボクの毛並の冷たさに気づいてるくせに…

人間なんて、みんな、最初だけなんだ

最初だけ優しい顔して頭を撫でたり耳の後ろをかいてくれたりするくせに、飽きたらすぐほるんだ

ボクも、ほられたんだ

ボクが愛した、あの人達に…

どうして…？

ボク、信じてたのに…

あの人達は、ボクのママであってパパであって、兄弟なんだって

形なんか違ったって構わないって

大事なのは心なんだって…

ねえ、

ボクは、違うの？

ボクは…

家族なんかじゃ、なかったの？

その時、男の子が近づいてきた。

きつと、この人間も他の人間と同じように結局ボクを捨てるんだ。

憎い、人間が、憎い

ボクはボクの頭を撫でようとした幼い手に勢い良く噛みついた。
男の子はとっさに手を引っ込めて痛そうに顔を歪める。

だまされないぞ

ボクがまた牙を向けようと顔を近づけると、男の子と目があつた。
直後、ボクは固まってしまった。

今まで優しい目や楽しそうな目なら見てきたことはたくさんある
けれど、こんなにも、悲しく寂しい目を見たのは初めてだった

ボクは、ボクが噛みついた男の子の手を見た

傷だらけだった

ボクは噛みつくことをやめて、男の子の手を舐め膝にすりよった。
男の子はボクを優しく抱き上げた。

ボクは抵抗しなかった

この人間は違う

ボクと同類だと思ったんだ

この人となる...きつと...

きつと

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5313b/>

家族

2010年10月12日02時50分発行